

# くまもと自然エネルギー フォーラム設立記念講演会

## 2011年9月2日(金)

開場:午後6時30分 開会:午後7時

くまもと県民交流館パレア・ホール 参加費:1,000円

講演:中村敦夫(俳優・作家・元参議院議員)

## 「木枯し紋次郎、 自然エネルギーを語る！」



### 中村敦夫〈プロフィール〉

1940年生まれ。

1972年放映の「木枯し紋次郎」が空前のブームになり、その後数多くのドラマで主演をつとめる。1984年、日本最初の本格的なTV情報番組「地球発22時」のキャストに起用され、TV界の流れに大きな変化をもたらす。1998年、参議院東京選挙区から立候補して当選。2002年、環境派政党「みどりの会議」を結成。国会では、90名の国会議員が参加する議員連盟「公共事業チェック・議員の会」の会長として、環境問題、農林水産業の復権などに取り組む。

現在、TBS日曜劇場「JIN - 仁 - 」などテレビ・映画に出演中。

著書「さらば、欲望の国」「簡素なる国」など多数。

**主催：くまもと自然エネルギーフォーラム**

事務局・東光石油株式会社 企画室

〒860-0811 熊本市本荘5-14-18 TEL:096-366-4101 FAX:096-371-4519

# くまもと自然エネルギーフォーラム設立趣意書

3月11日の東日本大震災は、地震、津波の被害だけではなく原子力発電所の極めて深刻な事故を発生させました。この事故によって日本のエネルギーを取り巻く情勢はまさに一変しました。いわゆる原発安全神話は崩壊し、福島第1原発事故については情報が錯綜し、何が正しい情報であるのか、人体に与える放射能の影響はどうなっているのか、とりわけ幼児や子どもに対する安全配慮は十分なのかなどの疑問が示されています。原発事故の収束もいまだ見えないまま、多くの地域住民が不安を覚え、また不自由な生活も余儀なくされています。私たちは、原発について正確な知識を得て、正しい選択をしていかなければなりません。

何よりも今後の日本のエネルギーをいかにして確保していくか、私たちの対応が迫られています。単に脱原発や原発推進などのスローガンだけでは解決できません。将来の電力をいかに確保していくか、自然エネルギーでどこまで確保できるのか、電力消費は本当に増えてきているのか、節電や省エネで電力消費を減らせるのではないか、幅広く国民全体で考えていかなければなりません。

そして、豊かな自然が残されている熊本ではどのような自然エネルギーが考えられ、またエネルギーの地産地消はどこまで可能なのかも含め、私たちは今こそ率直に学びあい語りあいたいと思うものです。

未来に責任の持てるエネルギー政策を幅広く論議して学ぶことが、まずは同時代に生きている私たちの役割であると信じ、そのために「くまもと自然エネルギーフォーラム」を立ち上げます。熊本県民の皆さんの幅広いご参加をお願いする次第です。

2011年 7月

## 呼びかけ人(7月23日現在)

- 坂本 正 (熊本学園大学前学長・くまもと自然エネルギーフォーラム代表)
- 石原 靖也 (東光石油会長)
- 大江 捷也 (熊本県文化協会 常任顧問)
- 小野 友道 (熊本保健科学大学学長)
- 北里 敏明 (弁護士)
- 清重 尚弘 (九州ルーテル学院大学学長)
- 栗谷 利夫 (税理士)
- 谷口 功 (熊本大学学長)
- 中山 峰男 (崇城大学学長)
- 原田 正純 (医師)
- 笠 日出臣 (熊本放送前社長)
- 山本 博昭 (熊本朝日放送前会長)

(次回の講演者には、孫正義・ソフトバンク社長をお呼びする予定です。)